



日本で初めてビールを作った人

参議院議員
客員相談役
藤井基之



夏、ビールの季節ですね。この時期だけは、ビールも、とりあえず、の身分から、立派な主役として大活躍です。ところで、そのビール、幕末に日本にやってきたノルウェー生まれのアメリカー人、ウィリアム・コーブランドという人が、明治三年（一八七〇年）に、初めて日本でビール会社を作り、事業化したそうです。が、実は、それより十年以上も前、まだ人々がちよんまげを結っていた時代に、ビールを自分で作ってしまった日本人がいました。

その人物の名前は川本幸民。一般には余り有名ではありませんが、三田藩（現在兵庫県三田市）出身の蘭学者で、蘭方医であるとともに、実は、日本で初めて「化学」という言葉を使った「化学者」でもありました。それまで「化学

は、蘭学者仲間を招いて、自家製ビールで、浅草の曹源寺で日本初の盛大なビヤパーティを開いたとか。

幸民は、医学だけでなく科学技術や物理学を熱心に学びました。そして、薩摩藩主の島津斉彬に認められて薩摩藩士ともなりました。

嘉永六年、ペリーの黒船が来航すると日本国中大騒ぎになり、島津斉彬は、幸民に西欧の兵器などに関する文献の翻訳を依頼しました。そこで幸民は、安政元年（一八五四年）、蒸気船の構造や写真技術、電信技術などについて詳細に解説した「遠西奇跡器述」という

という言葉はなく、「舎密」と言っていました。「舎密」は、「セイミ」と読みますが、オランダ語の chemie という語の当て字でした。

安政三年（一八五六年）、幸民は、幕府の「蕃書調所」という、外国の文献を調査、研究する役所の教授になりましたが、この時代に、ドイツの農芸化学の本を翻訳して、「舎密」ではなく「化学」という言葉を用いて「化学新書」という本を出版しました。

この「化学新書」に、「細磨セル麦芽一銖ニ、冷水三銖ト沸湯四銖ヲ和スル者ヲ注キ、一二時温處ニ置キ、撰氏六十五度ヨリ七十度ノ温ヲ得セシムレハ・・・」（粉碎した麦芽一に對して、冷水三と沸騰水四を混ぜたものを加えて、一〜二時間温かい所に置き、撰氏

本を出版しました。

幸民は、ビールだけでなくいろいろな科学技術に挑戦しました。白砂糖を作ったり、初期の写真技術、銀板写真や湿板写真にも成功、また電信器の作成、実験等もおこなったそうです。

日本で初めてマッチを作ったのも幸民でした。幸民が、ある日、商家に往診に行った時、そのお店の主人が冗談半分で、「西洋にはマッチと言う便利なものがある、もしマッチを作れたら五十両差し上げる。」と約束したそうです。そこで、幸民、マッチ作りに取りかかり、成功してしまっただけで、当時のマッチは、黄

リンを使っており発火点が三十五度位ですから、ちよつと気温が高いと自然発火してしまい危険な実験でもあったのですが、幸民はマッチ作りで成功、五十両をせしめたそうです。

百四十年前、鎖国を解いたばかり、近代化に向かい始めた明治日本には、このような先人がいました。そのような先人のDNAを受け継いで、今、日本は、失われた二十年と言われる経済、社会の低迷の時代から、新たな発展の時代へと再び走り始めました。世界最先端の科学技術が、必ず日本を再生させるでしょう。

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

<http://www.mfujii.gr.jp/>

- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。

- 好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参議院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団 専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人 日本薬剤師会 常務理事
平成13年 参議院議員(1期目)
平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問
平成22年 参議院議員(2期目)
平成23年 参議院政府開発援助等に関する特別委員会 委員長

- その他
慶應義塾大学薬学部 客員教授
昭和大学薬学部 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
京都薬科大学 客員教授
近畿大学薬学部 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師